

放課後児童クラブの過密化解消について

H27. 7. 17 子ども未来局子ども企画課

子ども・子育て会議放課後児童健全育成事業部会資料

1 現状と課題

➤ 現状

- ・第3次札幌新まちづくり計画（H23～H26）において、ミニ児童会館の整備を進める等、放課後児童クラブの拡充を進めてきた。
- ・放課後児童クラブの対象学年の拡大（3年生まで→6年生まで）や開設時間の延長を実施し、放課後児童クラブの充実を図ってきた。
- ・「地域子ども・子育て支援事業」の需給計画（H27～H31）上、行政区単位では必要量を確保できる見込み。

➤ 課題

- ・登録児童は年々増加し、小学校区単位やクラブ単位では、過密化が課題となっているところがある。

2 事業の必要性・目的

➤ 必要性

- ・過密化した状態は、子どもが健やかに育つ環境としては不適切なため、早急な対応が必要

➤ 目的

- ・放課後児童クラブの過密化を解消し、子どもが健やかに育つ環境を整備する。

3 取組みの方向性

➤ 小学校区単位での過密化解消

- ・必要量の確保は行政区単位で進めるが、児童会館や民間児童育成会など、どこを選択するかは各家庭の判断であり、利用調整は困難
- ・小学校を拠点としたまちづくりを進めていく観点から、小学校区単位での過密化解消を目指す。

4 過密化解消に向けた具体策（イメージ）

➤ 実施か所数の拡大

- ・過密化している小学校区で、すでに同様事業を実施している民間団体や、新たに事業を開始する民間団体を、新規助成対象とする。（民間児童育成会の増）

➤ 各施設の専用区画面積の拡大

- ・過密化している小学校区のミニ児童会館について、余裕教室等が確保できた場合、教室改修により専用区画を広げる。
- ・過密化している小学校区の児童会館について、現在は専用区画に入れていないスペースを一部改修するなどして、専用区画を広げる。